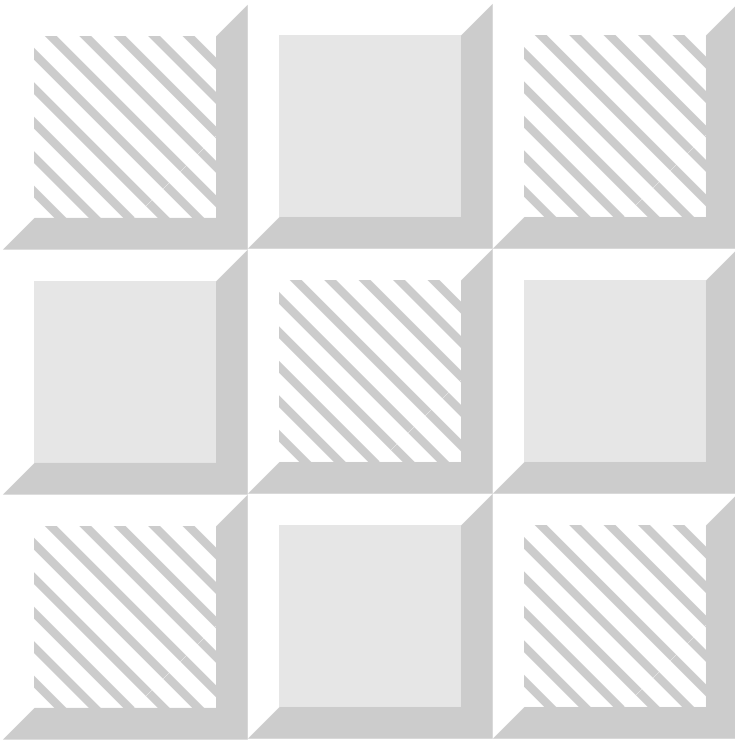
Panasonic®

取り付け工事説明書

壁掛け金具（角度可変型）

品番 TY-WK42PR4

このたびはパナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございました。

■ 取り付け工事の前に、この「取り付け工事説明書」と２～３ページの「安全上のご注意」、プラズマテレビの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しい取り付け工事を行ってください。取扱説明書とともに大切に保管してください。

TQZH992-1

安全上のご注意 （必ずお守りください）

お使いになる人や他の人への危害、物的損害を未然に防止するため、必ずお守りいただきたいことを、次のように説明しています。

■表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や物的損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

表示	内容
⚠ 警告	この表示の欄は、「死亡または重傷を負うことが想定される危害の程度」です。
注意	この表示の欄は、「傷害を負うことが想定されるか、または物的損害の発生が想定される危害・損害の程度」です。

■お守りいただきたい内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。（下記は、絵表示の一例です。）

絵表示	内容
	この絵表示は、気をつけていただきたい「注意」内容です。
	この絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。
	この絵表示は、必ず実行していただきたい「指示」内容です。

警告

工事専門業者以外は取り付け工事及び接続機器の増設を行わないでください

禁止

工事の不備により、落下してけがの原因となります。

荷重に耐えられない場所に取り付けないでください

禁止

取り付け部の強度が弱いと落下してけがの原因となります。

取り付け強度上の安全係数を配慮してください

強度が不足すると落下してけがの原因となります。

壁掛け金具を分解したり、改造しないでください

分解禁止

こわれたり落下して、けがの原因となります。

長期使用を考慮して設置場所の強度を確保してください

長期使用により設置場所の強度が不足すると落下してけがの原因となります。

⚠ 注意

カタログで指定したテレビ以外には、使用しないでください

禁止

落下したり、破損してけがの原因となることがあります。

指定方法以外の取り付けは行わないでください

禁止

落下して破損したり、けがの原因となることがあります。

あお向けや横倒し、逆さまに取り付けて設置しないでください

禁止

プラズマテレビ本体内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。

湿気やほこりの多い所、油煙や湯気、熱が当たる所に取り付けないでください

禁止

プラズマテレビに悪影響を与え、火災・感電の原因となることがあります。

プラズマテレビ本体の取り付け、取り外しは 2 人以上で行ってください

プラズマテレビ本体が落下して、けがの原因となることがあります。

取り付けの際は、専用の構成部品をご使用ください

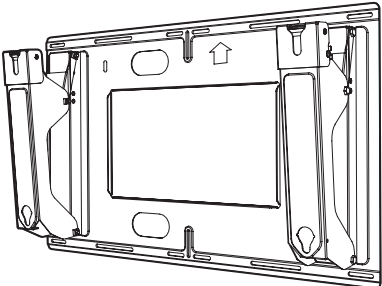
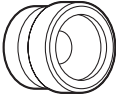
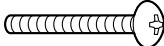
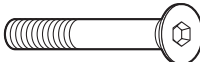
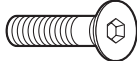
プラズマテレビ本体が落下して、けがの原因となることがあります。

プラズマテレビ本体より天面・底面・側面は 10 cm 以上、後面は壁面とテレビ本体の空間をふさがないでください

プラズマテレビ本体には、天面に空気吹き出し孔、底面と後面に吸気孔があり、これらをふさぐと火災の原因となることがあります。

取り付けねじや電源コードが壁内部の金属部と接触しないように設置してください

壁内部の金属部と接触して、感電の原因となることがあります。

使用を終了した商品は撤去してください

落下してけがの原因となることがあります。

取り扱い上のお願い

1) 直射日光に当てたり、ストーブなどのそばに置くと、光や熱によって変色したり変形したりすることがありますのでご注意ください。
2) お手入れは、やわらかい乾いた布（綿・ネル地など）でふいてください。ひどく汚れているときは、水でうすめた中性洗剤で汚れを取ってから乾いた布でふいてください。なおベンジンやシンナー、家具用ワックスなどは、塗装がはがれたりしますので、使用しないでください。
(化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書に従ってください。)
3) 粘着性のテープやシールをはらないでください。壁掛け金具の表面を汚すことがあります。また、ゴムやビニール製品などを長時間接触させないでください。(変質の原因となります。)
4) 設置時、衝撃などによるプラズマテレビ本体の「パネル割れ」が発生する場合がありますので、取り扱いにはご注意ください。

■ 取り付け不備、取り扱い不備による事故、損傷については、当社は責任を負いません。

構成部品

●イラストはイメージイラストであり、実際の商品と形状が異なる場合があります。

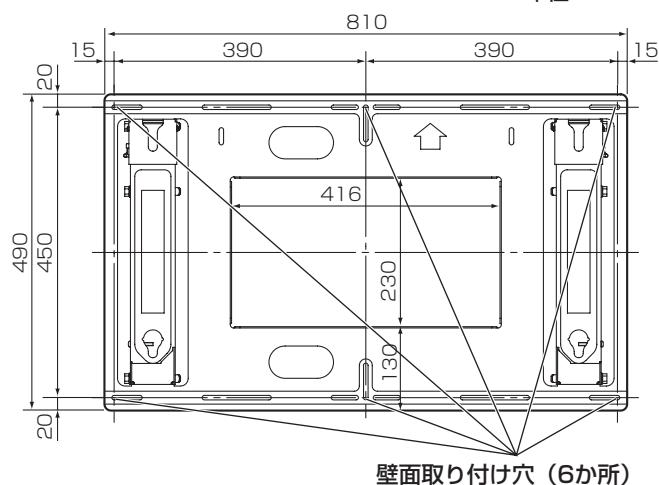
取り付け工事上の留意点

- **工事専門業者以外は取り付け、取り外し工事を行わないでください。**
  工事の不備により、落下して、けがの原因となります。
- **本機はプラズマテレビ本体を垂直の壁に取り付けてご覧いただくための壁掛け金具です。垂直壁以外の場所に取り付けて使用しないでください。**
- **プラズマテレビの性能保証やトラブル防止のため、次の場所には取り付けないでください。**
  - スプリンクラーや感知器のそば
  - 高圧線や動力源の近く
  - 暖房機器の風が当たる所
  - 振動や衝撃の加わるおそれのあるところ
  - 磁気、熱、水蒸気、油煙などの発生源の近く
  - エアコンの下などの水滴のかかるおそれのある所
- **取り付け場所の構造や材質にあった工法で取り付け工事を行ってください。**
- **壁面への取り付けねじは、壁面の材質（木材、鉄骨、コンクリート等）に合った市販品の呼び径 6 mm 相当のねじをご使用ください。**
- **機器周囲温度が 40℃を超えることがないように空気の流通を確保してください。**
  プラズマテレビ本体内部に熱がこもり、故障の原因となることがあります。
- **取り付け工事中に製品や床に傷が付かないよう、柔らかい毛布や布を使い、作業してください。**
- **ねじ止めをするときは、締め付け不十分や締め付けすぎがないようにしてください。**
- **本体の電源プラグは容易に手が届く位置の電源コンセントをご使用ください。**
- **取り付け工事の際は、周囲の安全確保と十分な注意をしてください。**
- **シーリングライト（スポットライト・ハロゲンライトなど）の下にプラズマテレビを取り付けないでください。**
  高熱によりキャビネットが曲がったり、いたんだりするおそれがあります。

取り付け工事手順

1. 取り付け場所の強度確認

① 壁掛け金具の質量は約 10 kg です。壁掛け金具に取り付けるプラズマテレビ本体の質量を、プラズマテレビの取扱説明書でご確認ください。

② 右図壁掛け金具の寸法図を参照のうえ、6 か所の取り付け位置の壁面強度確認を行い、強度が不足する場合は十分な補強を行ってください。

お願い
- ●壁掛け金具には 22 か所の取り付け穴が開けてあります。壁面の材質が木材などで、右記 6 か所の固定では取り付け強度が確保できない場合は、予備の穴もご使用ください。ただし、取り付け部の材質によっては近接した位置にねじ止めをすると、ひび割れが発生する場合がありますのでご注意ください。
- ●プラズマテレビ本体以外は取り付けたり載せたりしないでください。
- ●プラズマテレビ本体取り付け時の寸法詳細は、外形寸法図（7 ページ , 裏表紙）をご参照ください。

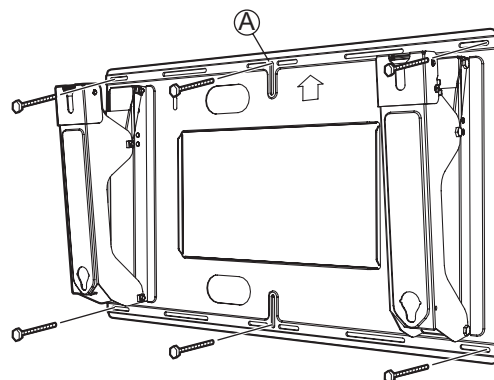
※必ずねじで固定してください。

2. 壁面への壁掛け金具の取り付け

① 壁掛け金具に表示されている矢印が上を向く状態に取り付けてください。

② 最初に上部中央の穴 Ⓐ をねじ止めしてください。

③ 水平器を使い金具の傾きを修正後、残り 5 か所の穴をねじ止めしてください。

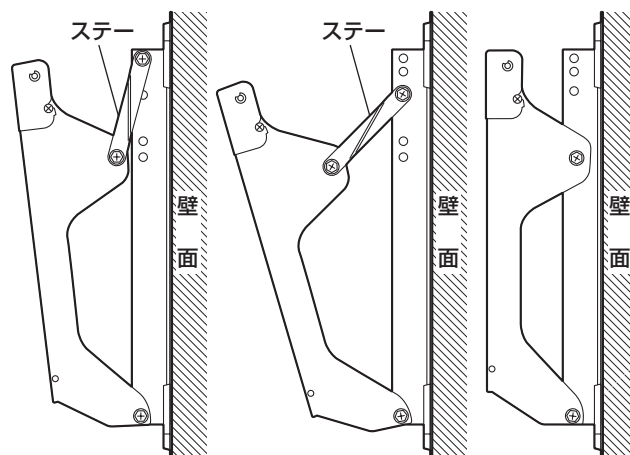
お願い
- ●壁面がコンクリートなどで、事前にボルトまたはナットを埋め込む必要がある場合は、壁掛け金具の現物合わせで穴位置を出すか、寸法図を基に穴位置を割り出し、「呼び径 6 mm相当」のボルトまたはナットを埋め込んでください。なお、ボルトを埋め込む場合は、壁面からのボルトの飛び出しは 10 mm ～ 15 mmにしてください。
- ●壁面への取り付けねじは、取り付け部の材質に合った市販品の呼び径 6 mm相当のねじをご使用ください。
- ●必ずねじで 6 か所以上固定してください。

3. 壁掛け金具の角度調整

① この壁掛け金具本体は「傾斜なし」から「20゜傾斜」まで 5゜間隔で 5 段階の角度調整ができます。工場出荷時は 5゜傾斜になっていますので、角度をかえる場合は、ステーの組み立て位置を変えてください。
（締め付けトルクは 11 ～ 13 N·m）

角度調整用穴位置

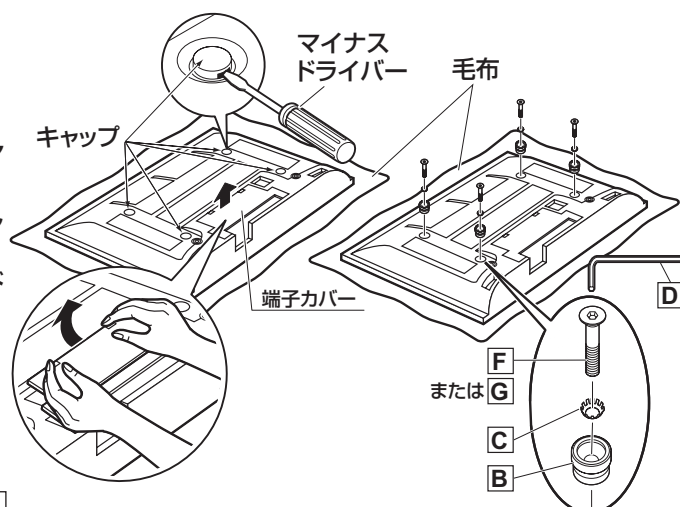
「 5゜傾斜」
「10゜傾斜」
「15゜傾斜」
「20゜傾斜」
「傾斜なし」

「5゜傾斜」の場合　「15゜傾斜」の場合　「傾斜なし」の場合

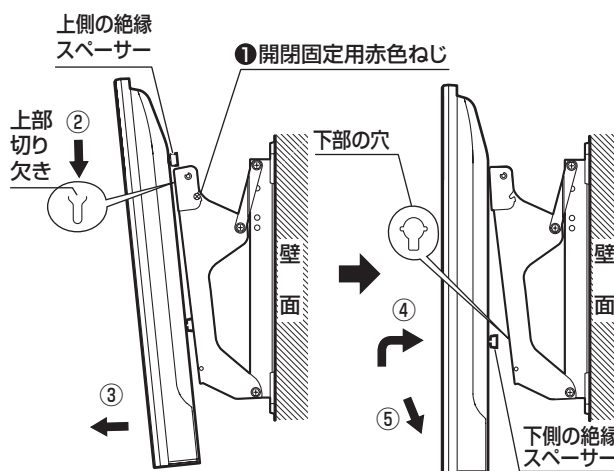
お願い
- ●「傾斜なし」の場合、ステーは不要になりますので、ステーとステー取り付けねじを大切に保管してください。
（傾斜させる場合に必要です。）

取り付け工事手順（つづき）

4. プラズマテレビ本体への絶縁スペーサー取り付け

① 汚れや異物がついていないきれいな毛布などの上に、プラズマテレビ本体の前面部を置き、次の手順で行ってください。
② プラズマテレビ本体に端子カバーがある場合は取り外してください。
③ プラズマテレビ本体からキャップ（４個）をマイナスドライバーで取り外してください。

●取り外した端子カバー・キャップは大切に保管してください。（専用台、据置きスタンドを使用する場合に必要です。）

④ キャップを取り付けていた所へ付属の六角穴付き皿ねじ F（または G）、皿型歯付き座金 C、絶縁スペーサー B（各４個）を付属の六角レンチ D で右図のように取り付けてください。
使用する六角穴付き皿ねじ F，G は、７ページ、または裏表紙をご参照ください。（締め付けトルクは ３～４ N·m）

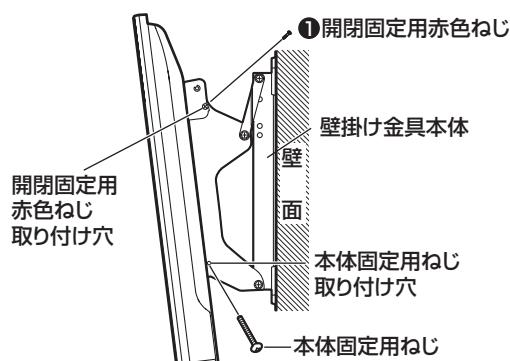
5. プラズマテレビ本体の壁掛け金具への取り付けと接続機器との配線

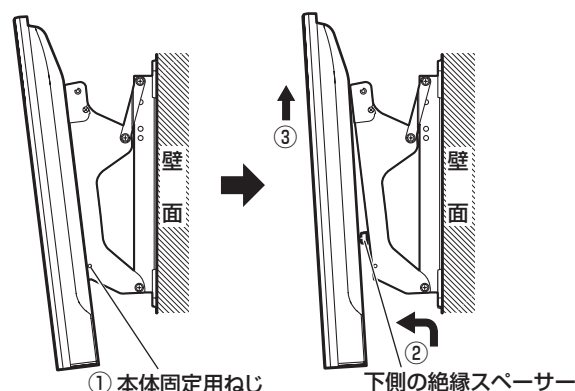
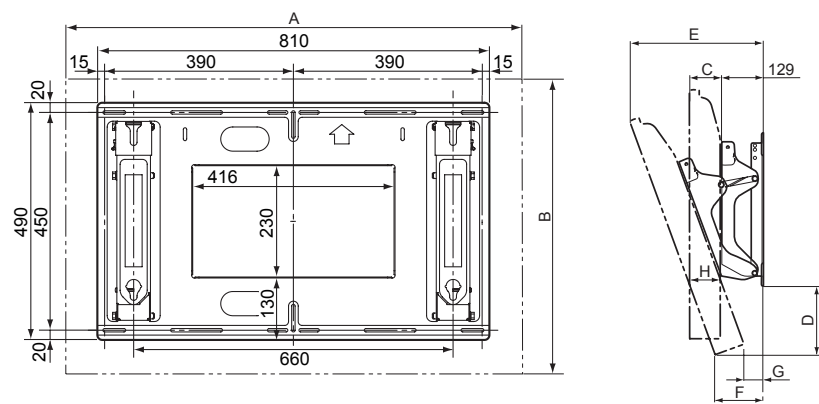
① 左右の開閉固定用赤色ねじ ❶（左右各１本）を外してください。
② プラズマテレビ本体上側の絶縁スペーサーを壁掛け金具本体上部の切り欠き部に引っかけ、そのまま下に下げます。
③ プラズマテレビ本体を右図のように手前に引き、接続機器との配線を行ってください。
④ 配線終了後、プラズマテレビ本体を少し持ち上げながら、下側の絶縁スペーサーを壁掛け金具本体下部の穴に差し込みます。
⑤ そのまま下へプラズマテレビ本体を下げます。

プラズマテレビ本体を持ち上げ過ぎると上側が外れる恐れがあります。

上側の絶縁スペーサー
❶開閉固定用赤色ねじ
上部切り欠き ②
下部の穴
壁面
③
④
⑤
下側の絶縁スペーサー

6. プラズマテレビ本体の固定

① 付属の本体固定用ねじを壁掛け金具本体側面（左右）の本体固定用ねじ取り付け穴へ取り付けます。
② 左右の開閉固定用赤色ねじ ❶（左右各１本）を壁掛け金具本体側面の開閉固定用赤色ねじ取り付け穴にしっかりと締め付けてください。
（締め付けトルクは 1.2 ～ 1.5 N·m）

お願い ●プラズマテレビ本体の外れ防止のために必ず左右に本体固定用ねじを取り付けてください。

7. プラズマテレビ本体の取り外しかた

① 壁掛け金具側面に取り付けられている本体固定用ねじ（左右各１本）を取り外します。
② プラズマテレビ本体の下部を持ち上げながら手前に引きます。
③ 下側の絶縁スペーサーが外れたらそのまま上に持ち上げます。

外形寸法図

（単位：mm）

対象機種	寸法	取り付け角度					六角穴付き皿ねじ	
		0°	5°	10°	15°	20°	F	G
TH-37PX80 TH-37PX88	A	917					○	–
	B	617						
	C	94						
	D	93	108	121	133	144		
	E	223	263	302	339	373		
	F	224	214	203	191	177		
	G	130	117	104	90	75		
	H	94						
TH-42PZ80	A	1020					○	–
	B	679						
	C	97						
	D	125	140	153	164	174		
	E	226	269	310	349	385		
	F	226	214	202	188	173		
	G	130	114	98	81	64		
	H	97						
TH-42PZ800	A	1078					○	–
	B	685						
	C	100						
	D	122	138	153	166	178		
	E	229	273	315	355	392		
	F	237	223	207	190	172		
	G	128	115	101	86	70		
	H	108						
TH-42PZ85 TH-42PZ88	A	1064					–	○
	B	668						
	C	80						
	D	116	131	144	156	166		
	E	209	251	293	332	369		
	F	218	204	189	173	156		
	G	130	115	100	84	68		
	H	88						
TH-42PX80	A	1020					○	–
	B	679						
	C	94						
	D	125	140	153	164	174		
	E	223	266	307	346	383		
	F	224	212	198	183	167		
	G	130	114	98	81	64		
	H	94						

外形寸法図（つづき）

（単位：mm）

対象機種	寸法	取り付け角度					六角穴付き皿ねじ	
		0°	5°	10°	15°	20°	F	G
TH-46PZ80	A	1124					○	ー
	B	747						
	C	97						
	D	159	173	186	197	205		
	E	226	271	315	357	397		
	F	226	212	197	181	163		
	G	130	112	93	73	53		
	H	95						
TH-46PZ800	A	1181					○	ー
	B	750						
	C	100						
	D	154	169	184	197	208		
	E	229	276	321	363	403		
	F	237	220	202	182	161		
	G	128	112	95	78	60		
	H	108						
TH-46PZ85 TH-46PZ88	A	1168					ー	○
	B	735						
	C	80						
	D	149	163	176	187	197		
	E	209	255	299	341	381		
	F	218	201	184	165	145		
	G	130	112	94	75	56		
	H	88						
TH-50PZ80	A	1210					○	ー
	B	791						
	C	97						
	D	180	195	207	217	226		
	E	226	273	319	363	404		
	F	226	210	192	173	154		
	G	130	109	88	67	45		
	H	97						
TH-50PZ800	A	1267					○	ー
	B	794						
	C	100						
	D	176	191	206	218	228		
	E	229	278	325	369	411		
	F	237	218	198	176	153		
	G	128	110	92	72	52		
	H	108						
TH-50PX80	A	1210					○	ー
	B	791						
	C	94						
	D	180	195	207	217	226		
	E	223	271	317	361	402		
	F	224	207	188	169	148		
	G	130	109	88	67	45		
	H	94						

ご相談窓口における個人情報のお取り扱い

松下電器産業株式会社およびその関係会社は、お客様の個人情報やご相談内容を、ご相談への対応や修理、その確認などのために利用し、その記録を残すことがあります。また、折り返し電話させていただくときのため、ナンバー・ディスプレイを採用しています。なお、個人情報を適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に提供しません。お問い合わせは、ご相談された窓口にご連絡ください。

松下電器産業株式会社
映像・ディスプレイデバイス事業グループ
〒571-8504　大阪府門真市松生町 1 番 15 号

パナソニックお客様ご相談センター
電話 フリーダイヤル 0120-878-365
FAX フリーダイヤル 0120-878-236
365 日／受付 9 時～ 20 時

M0208A1038 (MBS)